



上尾ロータリークラブ

2023-2024年度R.I.テーマ



世界に希望を生み出そう

第3005回 例会
2024. 3. 14

会長あいさつ



2023-2024年度 長沼 大策会長

週報 No.2250
発行 2024年 3月 28日

2023-2024年度
会長 長沼 大策
幹事 坂本 忠光
副会長 門崎 由幸
副幹事 小田切宏治
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 尾花 正明

行事予定

4月4日 卓話 杉中尚平様
(上尾北ロータリークラブ)
「SDGsとLGBTQについて」

4月12・13日 仙台・松島へ
会員親睦旅行

4月18日 社会奉仕事業
献血
於:上尾駅東口

4月25日 卓話 久井愛未様
(青少年交換学友)
「青少年交換から10年
~その後のストーリー」

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。本日は訃報からです。昨年末に退会された井上清さんがご逝去されました。少し井上さんについて少しお話ししたいと思います。昭和2年(1927年)12月25日生まれ、上尾ロータリークラブに昭和61年(1986年)1月1日に入会されました。59歳で入会されたことになり。会長をお務めになったのは1999年—2000年 ご本人が72歳の時で、当クラブの第37代会長でした。当時は2000年問題があったり、ノストラダムスの大予言など世紀末イヤーでした。心配されたことは杞憂に変わり、人類は西暦2000年を迎えミレニアムイヤーを盛大に祝っていたと思います。今から24年前のことです。

第37代井上年度にどんなことがあったか、記念誌の年譜を読んでみました。「生活改善薬」についてファイザー製薬さんによる卓話がありました。また大木保司会員による「上尾まつりのナイショ話」があったようです。翌4月には身障者ふれあい釣り大会を催しています。釣り大会では、招待した身障者さんが釣り堀に落ちてしまい大変だったんだよと井上さんから聞いたことがあります。

井上さんは病気を患ってからご自宅で療養されるようになり、それでも数カ月前までご自宅ではお元気で、規則正しい生活をして夕飯では晩酌を少ししたしなむのが日課、ルーティンだったようです。お体が急変されたのはほんの2週間前、藤村病院さんへ入院しましたが、3月12日(火)午後1時37分に誤嚥性肺炎でお亡くなりました。藤村先生に看取られ、穏やかなお顔だったそうです。クラブ在籍は37年間、享年96歳、大往生でした。先に奥様が旅立たれているので、いまは天国で久しぶりのご面会を喜んでいるのではないかと思います。心からご冥福をお祈り申し上げます。



ROTARY CLUB OF AGEO

さて話変わって、私は、以前クラブでお世話をした米山記念奨学生と少し連絡をとっています。鄭さんや修さんといった女の子は樋口カウンセラーに任せるとして、私が連絡をとっているのは男性です。2016年度にお世話をしたチョウドリ・イムル君は就職した空調の会社を辞め、現在都内で派遣社員としてがんばっていたのですが、もしかしたら今春バングラデシュに帰るかもしれないと言っていました。また1年前までお世話をした荘正宇君とは先日、伊奈町の懐石料理店で食事をしました。日本で友人以外の人と外食するのは初めてとのことで、とても楽しく会食できました。幸せ御膳というランチコースをいただいたのですが、「女性に好評」というには量が多く満腹になってしまいました。荘君は4月から日本薬科大学の大学院4年生になるそうです。勉学は忙しいですが、4月から近所のコンビニエンスストアでアルバイトを始めるかもしれない、そして日本語を勉強しながら就職活動を展開するとも言っていました。折をみてまた面会したいと思います。春は別れと出逢いの季節です。先ほど飛び込んできたニュースなのですが、当クラブが2024学年度、米山記念奨学生の世話クラブとして決定したそうです。オウ・ギョウユンさんという中国出身の女性で、現在は聖学院大学の2年生ということです。大至急カウンセラーを決めなければならないのですが、例会後の理事会で相談したいと思います。(理事会で斎藤藤弘バスト会長がカウンセラーに就任することが決まりました。) 本日もよろしくお願いたします。

幹事報告

坂本 忠光 幹事

◇3月19日、IM記念ゴルフ大会が行われます。出席される方は、よろしくお願いたします。

◇3月21日、ロータリー情報委員会&新会員歓迎会を恵比寿亭で18時から開催します。

◇地区研修・協議会の名称が改められた「地区クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー」が4月19日に大宮ソニックシティで開催されます。次年度会長・幹事が出欠の取りまとめを行いますので、よろしくお願いたします。



ショートスピーチ

深澤 圭司 会員

本日3月14日、ホワイトデーで、お世話になっている事務員さんにユーハイムのお菓子をプレゼントしてから例会にきました。

近況報告では、50歳を超えてから体や記憶力に支障をきたしている箇所が多々あります。つい最近では、お弁当に持参するお味噌汁を温めようと火をかけたまま会社に行ってしまう。コンロには自動消火機能が付いていて大事には至らなかったのですが、非常に怖いと思いました。また階段の上りは平気ですが、下りでつまづくようになりました。今週月曜は、会長年度を終えていただいた丸九の商品券2万円のうち3千円を使い、残り1万7千円分の商品券を作業着のズボンのポケットに入れたまま洗濯してしまいました。

年を重ね、うっかりミスが多くなってきましたが今後もどうぞよろしくお願いたします。



例会主題

新会員卓話 私の62年の人生と、これから

荒井 貞美 会員

皆さん、こんにちは。私の62年の人生と、これからというテーマでお話したいと思います。

私の弟は越谷で不動産鑑定士をしていて、ロータリーの会長・幹事の経験もして「兄貴も入会したらどうだ」とずっと言われていて大木保司さんが学校の先輩ということもありましたので今回入会させていただきました。私はサラリーマンをずっとやってきましたので、自分で商売をするのはこの3年くらい、叔父の不動産賃貸業を中心に継ぎまして、まだまだ経験は浅いです。皆さまから事業とは何なのかを学ばせていただきたいと思っています。

私は大学卒業後、地方銀行のA銀行に入社しました。地域金融機関として人生を送ろうと決心して就職したのですが、40年前は入社初日から夜11時まで仕事で、最終間近の高崎線に乗って帰ってきました。



今では考えられませんが、上司も厳しく、そろばんで頭を殴られて、そろばんの駒がはずれ頭から血が流れたことが何回もありました。営業に関してはノルマ主義で、当時日本は成長期でしたので、とにかくお客さんを掴めと、成約できるまで帰ってくるという時代でございまして、私は1年目から、普通は5時に営業は終わるのですが、なかなか最初は営業がとれず、お客さんのところに7時~8時頃に行ってお願しました。当時は融資より預金を集めるのが仕事でしたので「お金を預けてください」という話をしました。22-23歳の若造が行くものですから、かわいそうだねということで、ご飯食べていきなよ、お風呂入っていきなよという感じがありましたし、当時10万円~100万円を預けてくれるお客様もいました。そのような状況が普通だったんですね。お客さんと仲良くなるということで、とにかく地元重視ということで、床屋も着物を買うのも地元で行っていました。呉服屋の社長さんは地主さんだったこともあり、40年前で、100万円預けてくれました。その社長からは「申し訳ないけど着物を買ってくれないか」と言われ、当時100万円の大島紬を買い、それから3年間、給料から返済したこともあります。あとお客様のために、お客様の家庭の息子さんに英語を無償で家庭教師してお客さんと仲良くなったこともありました。

A銀行のC支店(都内)に行ったのはバブルの頃で、P店に50億円を融資したことがありました。またゴルフ会員権をセールスしろと上司に言われ、栃木・群馬・埼玉の1つ8千万ほどの会員権を売って10~20年ローンを組むというのが普通に行われていました。住宅ローンも積極的に融資しろということで、かなり上司に責め立てられ、営業をしすぎた反面、最終的に役員決済がおりなかった建築会社の親方がいて、その社長がもう許さない、お前の人生は終わりだと丸2日間、その会社から出してもらえず、愚痴をきいて、その時初めて半沢直樹ではありませんが土下座をしたことがありました。

時代が変わるとどんどん不良債権ができて、入社6~7年目、競売手続きの勉強をして、お金を返せなくなったお客様を手続きとして担保を競売の申し立てを北海道から九州まで出張したこともあります。東北のD支店では新規開拓に行き、地元の銀行の肩代わりをすることを宣言しました。粘り強く交渉した結果、とある主要な食品製造販売事業主と

取引をすることができました。30歳くらいの私に、当時としても異常な融資権限が与えられ、係長の若造に1億円の権限が与えられ、私の判断で決めていいということがまかりとおっていた時代でした。東北では四大祭りの制覇もできましたので、いい思い出となりました。

話は変わって個人的なことですが、血液検査をしたところC型肝炎という病気が見つかり、その末期だと言われました。GTPという肝機能の数値は普通は30~40なのですが、私はそれが800ありすぐ入院しました。肝硬変。癌になってしまうと言われ1年くらい入院して、当時いちばん有効なインターフェロンという抗がん剤的な治療をしました。ただ余命四年と言われ、必死に治療に取り組みました。その時は、人生終わったなとサラリーマンを辞めて海外旅行にでも行って死にたいと母親にもらしたところ、母親は新薬がでるから人生あきらめるんじゃないよと言われたことを覚えています。

35歳を過ぎ、同じ銀行のE支店に転勤になり管理職になりました。企業を活かすために融資を簡単に断るのではなく、E支店とは高崎だったので、群馬の温泉地域の融資の申し込みを受けて、債務超過の旅館もいっぱいありましたけど、なんとかお金をお貸しして、群馬の街を生き返らせるような融資をしたいと上司と喧嘩をして融資が通るよう努力した時代でした。

病気の方はC型肝炎の数値は400くらいまで下がったのですが、ずっと治療が続けたのですが、新インターフェロンという新薬がでて1年間投与して完治しました。40歳頃だったので、やっとな人生が拓けたかなという思いでした。そんな中、仕事も忙しくなり、不良債権が増えていき、私の銀行は最終的には国有化になってしまいました。朝テレビをつけたら竹中金融相がA銀行を国有化したと報道されていて、上司に電話をしてあたふたしたのを覚えています。頭取と面接したのですがA銀行は辞めました。

次は派遣会社に転職しました。レジメに「人材との向き合い方」と書きましたが、スタッフとの向き合いが多くてそこでいろいろな経験をしました。支店と本社の勤務があったのですが、請負業務を担当し、なかなか苦業としました。家電メーカーの工場カーナビの5ラインを請け負ったのですが、なかなか人が集まりません。集まったかと思えば、朝、メーカーの川越の工場に行くと、30人のスタッフが

いなければならないところ、半分の15人しかいません。ということでオープンラインが稼働しない、家電メーカーの受注に応えられずとんでもないことになって、責任者である私が工場長に土下座をして謝って、損害賠償を支払った経験もございまして。

またスポーツ業務の責任ということで、アルバイトのようなスタッフを派遣するのですが、人が当日なかなか来なくて、いちばん困るのが、ゴルフ場のキャディの人材派遣を担当した時に、キャディさんが2人来なくて、結局キャディなしでやって、支配人にこっぴどく怒られた経験もございまして。この会社で最後は本社勤務で人事の仕事をしたのですが、ここでも人との向き合いで、自分の会社の社員・部下との向き合いをしました。この派遣会社はオーナー企業だったので、使えない人材はいいよという社風がありましたので、そこは人事部長としてどうやってその人が納得して肩たきしてもらおうとか、逆に努力して仕事を覚えてもらうとか、いろいろな苦労をして狭間に立って悩み相談をしたことがあります。最終的には経営者の社長とオーナー企業の社長様の意向にそえず、「このスタッフを切れ」と言われた時に、私は「スタッフにも家族があるのでできません」と「社長の意向に沿えないので辞めさせていただきます」と、自ら職務に対して対応できないと、どうしても情が入ってしまっ、なかなか派遣切りという少し前に問題もありましたが、そんなこともございまして。会社を辞めた時は45歳になったので、女房に言ったら「なんでも見ないから働いてよ」と言われ、1月3日の日経を見たら、中途採用の求人広告欄があって、45歳だから採用してくれないかもしれないけれど、B銀行に応募してみました。

求人広告の年齢制限が35歳だったんですね。そこへ45歳の私が履歴書を出して送ったら、1週間後に

B銀行の人事部長から電話があり、年齢制限を超えているけれど面白そうなんなので面接に来てほしいとのことでした。その結果、採用されました。ただ困ったのは、平社員として新人として入社しましたので、新入社員が行うトイレ掃除やゴミ箱の整理も行いました。きつかったのは22~23歳の、入社2年目の社員から、あれこれ命令されてまんじらことです。なんとかなってこれ命令みせると業務に邁進しました。その結果、A銀行での経験もありましたので、800人いた営業マンの中で入社して3年でトップを獲ったんですね。すると入社3年後に管理職になりました。係長になって5年後に異例かもしれませんが支店長になりました。その銀行はいま100年の歴史がありますが、「入社5年で支店長になったのは最短記録だね」と当時頭取に褒められた記憶がございまして。これは私にとって唯一の勲章と言うか、努力が実って報われたかなというようなサラリーマンとしてのうれしさでした。それからは部下の育成や、部下の家族の悩み相談が多くて、部下の中には高学歴の部下もいました。これらを経験して60歳の定年を迎えることができました。

そしてたまたま、叔父は半年前に亡くなったのですが、甥っ子の私が不動産の仕事をするようになりました。まだまだ自営業として模索している最中ですが、私としては人生のいろいろな悩みや苦労をしてきたことでもありますので、ロータリークラブの皆さまの生きようとしたお手伝いや貢献をして、残りの人生を生きていきたいなあと思います。新人ということで本当にコツコツしかやれないこともありますのでご指導をいただきたいなあと思います。来月から、私の管理している愛宕町の、上尾家電さんがあるマンションの2階にテナントを移して営業をします。皆さまのお役にたてればと思いますので、よろしくお願いたします。

スマイル

荒井貞美会員、卓話いただきありがとうございました!!

長沼会長/坂本幹事/大塚信郎会員/村岡会員/尾花会員/
大木保司会員/深澤会員/須田会員/宇多村会員/大木崇寛会員/
山崎会員/寺脇会員/木田会員/荒井会員

出席率	
会員数	35
出席免除者欠席	4
出席対象者	31
出席者数	14
45.16%	

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799